

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：小規模多機能ホーム きいちご倶楽部

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設 (該当に○)

日時：平成 29 年 4 月 28 日 15 時～16 時

会場：きいちご倶楽部 第 2 リビング

出席者

(人数)

| | | | |
|--------------------|-----|-------------------------|-----|
| 利用者代表 | 1 人 | 有識者 | 1 人 |
| 利用者家族 | 0 人 | 高齢者あんしん 支援センター職 員 | 1 人 |
| 地域住民の代表 | 1 人 | 出雲市職員 | 1 人 |
| その他 (法人理事長、管理者、職員) | | | 3 人 |

(報告事項)

1. ご利用の状況

現利用登録者は 15 人であり、徐々に増えてきたことを報告した。それに伴って通い、訪問も増加してきている。

2. 2 月、3 月の主な活動、行事

「きいちご便り」第 6 号に沿って、日頃の活動、ひかり保育園の行事への参加など月の行事や活動を報告した。

3. 各ご利用者のケア、課題の要点

15 人のご利用者について、ご利用の様子、ケアする上で努めている点などを報告した。

4. 職員の状況

4 月から新職員が 3 人、うちふたりは看護師で、フルタイムとパートタイム各ひとりずつである。

(要望、意見、助言等の要点)

- ・ 2 か月の間、入院されていて、4 月から利用を再開されたご利用者から今のお気持ちなどをお話しいただいた。
- ・ ご利用者が増えてきたことは、安心材料である。しかし、一方で老人保健施設に入所された方、今入院中の方もおられるので、更に定員近くまで増やしていく努力が必要である。
- ・ この 1 年をどう評価するか。前半のご利用者が少ない時期が続いたが、年末近くになってやっと増えてきた。年間通しては、経営的に赤字ではあるが、この増加の状況を維持して、数年のうちに負債分を解消できるよう経営を安定させてゆきたい。
- ・ 居宅のケアマネをさらに回ってゆくことが必要である。

(文責 山崎賢二)